

【ATC フィロソフィ⑩】

こんにちは、アークテックコム株式会社で、技術書類の作成と翻訳を行っています豊原 信です。



ウェブサイト:

<https://arc-tec-com.com>

Tel : 050-6864-6201

Fax : 050-6864-6202

E-mail : [m.toyohara@arcteccom.jp](mailto:m.toyohara@arcteccom.jp)

## 心は時を駆ける

今月は弊社の近況とフィロソフィの紹介と応援メッセージをお送りします。

### ATC の近況

生成 AI の機械翻訳の人気や円安の影響でしょうか、ここ数年翻訳に関する仕事の動きが悪かったのが活発になっています。更に翻訳エージェントさん達にも提供する価値の内容で変化が起こっています。以前は横並びが多かったのが、それぞれの創造する価値に見合った内容に変化してきていて、そこに強い信念を持つところが輝いていると感じています。弊社にとって選択の幅を広げることが出来るように成って来ています。

\*\*\*\*\*  
弊社のフィロソフィです。

何故にこのような宗教的な考え方を採用しているかと言いますと。仕事に従事される方々の一人一人が素

晴らしい人生を送れるようにという思いからです。

それでは、フィロソフィの続きです。

### 六波羅蜜を心がけ、一生をかけて人格を磨いていく

その理由は、お釈迦様は悟りを開くことこそが人生の目的だと仰って、その方法として六波羅蜜を示されました。自分の煩惱を少しでも抑え、辛いことを堪え忍び、心を静かに落ち着けながら、他人のために尽くし、一生懸命に人生をまっとうする。そうすれば、悟りの境地に到達すると、おっしゃったわけですが、これらの項目はすべてフィロソフィにある「心を高める」、あるいは「心を磨く」「心を純化する」「心を浄化する」ということと同じ意味なのです。

ただし、私達は凡人ですから、お釈迦様がおっしゃるような悟りの境地にまで、到底行けるはずがありません

ん。悪さもするし、思い違いをしては反省し、自らを正す、その試行錯誤を繰り返しながら生きています。生身の人間ですから、ついつい愚痴もこぼしますし、腹も立て、欲も出てくる。いろいろな煩惱が出てきますが、それは人間であれば当然のことです。しかしながら、それらをできる限り抑えて、どこまで純粋な心を持ち続けるのかということが重要なのです。つまり、六波羅蜜の修行を、一生をかけてどこまでやれるのか、それこそが死ぬまでにつくり上げるその人の人格であり、魂となるのです。これだけは、あの世へ持っていくことができるのではないかと、つまり、たとえ死んで肉体が減びてしまっても、崇高な魂だけはあの世まで持っていけるのではないかと、そのように思います。

人生の方程式の中にある「考え方」をすばらしいものに高めていくためにも、

六波羅蜜をぜひ心にとどめておいてください。心を磨いていれば、望まなくとも会社は立派に成長していくはずです。ただし、会社が立派になったことは、手柄でも何でもなく、それをつくり上げていく過程で磨き上げた自分の人格、人間性こそが、皆さんにとって財産となるのだということを、ぜひ理解していただきたいと思います。

### 人生の目的とは、心の純化、 浄化に努め、心を立派にして いくこと

企業経営において、「心」というものが一番大事だと考えます。「心」とは、「考え方×熱意×能力」という人生の方程式にある「考え方」と同じだと考えます。「熱意」も心の所産ですから、人生の結果と仕事を表すこの方程式において、いかに「心」という変数が大事なのかということがわかるとと思います。

そのために、「ATC フィロソフィ」では、心というものが常に一番大きな比重を占めています。

そこで、「人生の意義」とは何か、考えてみますと、一人の人間としてこの世に生を享けて生きていくその人生の目的、意義とは何だろうか。それは、因果応報

の法則を天地宇宙の真理として捉えた、お釈迦様の言葉にあると思います。「この世界は心に導かれている」と仰っています。美しい心で思えば美しい世界が実現します。その心を美しく高尚にすることが「人生の意義」であると考えられます。「心を高める」「心を立派にする」「心を純化する」「心を浄化する」「美しい心をつくり上げる」表現の方法こそ違え、これらを目標に努力することで、人生を意義あるものにする事ができると思います。

※2024年07月号に続きます。

\*\*\*\*\*  
応援メッセージです。

### 時を大切にする

時間は進みます。時代もドンドン進みます。それを無理に止めてはいけません。一緒に進みましょう。決して飲み込まれてはいけない。あなたも今の時代を進める一人です。

時に抗うと、時に飲み込まれてしまいます。時を軽視すると、時に置いて行かれます。時に迎合するだけでは、自分が自分で無くなってしまいます。

時という大きな流れがあることを認識し、その中で

時代を創っていきましょう。自分の人生のマニユスクリプトを書きましょう。

大きく俯瞰し宇宙と調和し、時代を創っていく感覚が必要です。即ち、時と調和し、自分で時代を築いていくと考えることです。この思いがあれば、素晴らしい成果に繋がっていきます。時という膨大なエネルギーが追い風になり、成果を生み出すことができます。ただし、大きな成果を生み出しても、時を見失うことが無いようにしましょう。自分の成果に、自分で溺れぬようにしましょう。だからと言って、時を恐れることはないのです。時を大事にし、時を読み時と共に歩むことが大切です。

\*\*\*\*\*

豊原 信